

(参考資料 2)

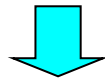
平成 27 年産米の市町別自主的取組参考値の設定方法について

1 基本的な考え方

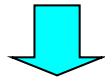
国から提示された自主的取組参考値について、需要に応じた非主食用米の供給を確保するため、県段階が想定する非主食用米の作付計画面積を該当市町へ配置（控除）するとともに、それに伴って生じる過大控除分を主食用米の販売力（農産物検査の市町シェア）に応じて再配置する。

2 具体的な設定方法

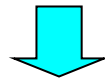
別途算定した 27 年産の市町別生産数量目標（面積換算値）を、その合計が県に提示された自主的取組参考値と同じ値となるよう一律に圧縮＜基準となる実的取組参考値の算出（①）＞



県段階（県農業再生協議会で協議）が想定する 27 年産非主食用米の市町別の作付計画面積を 26 年産主食用米と非主食用米の合計面積（水稻作付面積）から減じる＜非主食用米の配置（②）＞



②で算出した面積が①の面積を下回った合計を農産物検査数量の市町シェア（面積）に応じて①または②で算出した面積の小さい方に加算＜主食用米の再配置（③）＞し、市町別の自主的取組参考値（面積）<sup>注</sup>を決定



市町別の自主的取組参考値（面積）に各市町の基準単収（広島地域センター公表値を用い算定）を乗じて市町別の自主的取組参考値（数量）<sup>注</sup>を決定

注) ○ 27 年産生産数量目標を超えないよう調整する。  
○ 国から提供される「自主的取組参考値」及び「面積換算値」を超えないよう調整する。

(参考) 非主食用米の配置計画（上記②関係分）＜数値は仮置き・ラウンドの関係で計が一致しない場合がある＞

区分	27 計画 (t)	27 計画 (ha)	配置の考え方	26 実績 (ha)	増減 (ha)
①加工用米	2,400	459	かき米：全農計画分を配置 冷凍米飯等：県及び全農計画を配置	314	145
②WCS用稲	—	370	TMRセンター分を配置後、地域取組分を26取組市町シェアに応じ配置	280	90
③飼料用米	2,900	550	全農計画分を配置後、地域取組分を26取組市町シェアに応じ配置	94	456
④米粉用米	630	121	26取組市町シェアに応じ拡大配置	115	6
⑤備蓄米	1,010	191	26取組市町シェアに応じマイナス配置	395	▲204
⑥その他新規需要米	56	14	非主食用米種子を配置後、26取組市町シェアに応じ配置	14	0
計	6,996	1,705	各市町の27計画①～⑥の合計を26水稻作付面積から減じる	1,212	493

※生産数量目標の外枠で生産される酒造好適米については、算定時点で把握できないため算定には用いない。